

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		きぼうクラブ	公表日					令和8年 7月 10日	
		チェック項目	はい	いいえ	回答なし	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	5			・年齢幅が広く、曜日によっては狭い。 ・4階にあること。 ・併設しているB型もあり、子どもたちが出ていきやすい。鍵なども無く狭い空間。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。		6			・利用者の人数に対しては適切かもしれないが、状態に関しては手が足りない事もある。 ・送迎があり、その間手薄になる。 ・障害幅が広すぎる。 ・児童の状態や特性に対し、職員が全く足りていない。危険が多い状態。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		6			・バリアフリー化されていない。 ・車いす用の避難口が無い。 ・出入りにドアが無く飛び出しがある。 ・掲示なども無く、離接も簡単に出来てしまう。窓などに危険が多い。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		6			・棚は常に乱雑で片付けてもすぐに汚れる。 ・落ち着いて活動する場が無い。 ・おもちゃの消毒が追いつかない。 ・扉など開閉が壊れている箇所がある。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	3			・利用人数に対して個別にある環境ではない。 ・あるが、一人でクールダウンするには難しい環境。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	1	5			・ほぼ参画していない。 ・連携が少ない。 ・業務改善が見られない。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	4		・面談時に意向の把握を行っている。	・設けていない ・評価表はあるが反映されていない。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	3		・一部の職員間での連携は有る。	・月一回の会議で行っている。 ・話し合いが少ない。 ・少しづつ連携が取れてきているが一部の職員間のみになっている。 ・意見を出すも上へつながらず、改善されていない。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3			・最近はいつ行っているか不明。業務改善は無い。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	1	5			・研修は受けていない。 ・様々な内容で研修が必要。 ・研修はとても少ない。パートには何もな		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	1	4	1		・わからない。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	2	3	1		・担当による。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	1	4	1		・児童発達支援管理責任者はほぼ不在、関わっていない。 ・児発管のチェックが未。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	4			・共有していても各職員が全員確認できていない。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		6			・アセスメントが取られていない。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2	4			・おおむねすべてできていない。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1		・会議などで話し合い。	・一人が全責任を負わされている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1			・しているが現状人手不足過ぎて活動そのものが出来ない。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	2		・情緒面重視で行っている。	・子どもの状況に応じては取り組めていない。 ・人手不足で出来ない。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	3		・活動については日々打ち合わせを午前中に行っている。	・チーム連携がそもそも出来ていない。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		6			・時間が取れず、行えていない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	2			・記録をする人が決まっていて、毎日きちんととれていない。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	2			・しているが、全員は出来ていない。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	1	5		・個別支援計画に組み込んでいる。	・読んでいるが、支援できていない。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3	3			・障害の程度もあるので数名しかできていない。 ・優先しているが、選択する内容が提供できていない。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	2	1		・理解している人が出席していない。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	1	・協力医療機関との協力体制は整っている。 ・同じビル内に協力医療機関がある。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	1			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	3			・今の所ない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	3		・公園などでの活動の際に交流を持つことがある。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	2	2		・わからない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	2		・連絡帳や送迎時に情報交換を行っている。	・送迎時や連絡帳はしているが不十分。
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		1	・契約時に詳しく説明している。	・分からない。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	1	1		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6				・担当による。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	2		・年に2回のモニタリング時と相談を受けた際に行っている。	・不十分。保護者が相談しやすい状況にない。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		5	1		・行っていない
説明等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1			・保護者が不審に思っている事が多い。

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	1			・通信のみ。HPもあるが内容不十分。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	2			・個人情報保護法の保管方法ではない。 ・シュレッダーが無く、処分が不十分。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	1			・保護者を大切に出来ているとは思えない。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	1		・最近が増えてきている。防犯と感染はない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	3			・内容の充実がもっと必要。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			・会議の際に確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6				
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	3			・作成されていないと感じる。 ・危険が多すぎる。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	3			・わからない。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1			・ヒヤリハットを書いている人が少ない。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6				・最近研修あったが根本的な改善が無い。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6				